



(四川省・雲南省での青いケシ探索)

2022年11月27日 松永秀和

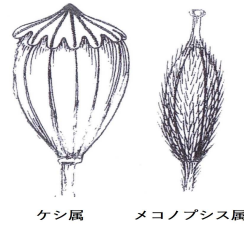
これまでの青いケシ（メコノプシス属）探索の経歴

No	年月	期間	地域
①	2013年6月	26日	中国四川省西部（螺髻山、冶勒、折多山、羊拱山、巴朗山）(G)
②	2014年4月	9日	中国雲南省北部（徳欽、梅里雪山、香格里拉）(G)
③	2014年7月	9日	インド・ヒマチャールプラデュッシュ（サチ峠、パンギー谷）(T)
④	2015年6月	8日	中国四川省北部（九寨溝、黄龍）(T)
⑤	2015年/6~7月	13日	中国雲南省北部（玉龍雪山、住古山、老君山、石卡雪山）(G/T)
⑥	2015年7月	11日	インド・アルナチャールプラデュッシュ東部（バンガジャン）(T)
⑦	2016年/6~7月	40日	ブータン北西部（ブムタン県、ハ県、チョモラリトレック）(I)
⑧	2017年6月	25日	中国チベット南東部、南部（魯朗、拉薩、甘丹寺、嘎馬溝）(I)
⑨	2017年7月	25日	ネパール中部（マルデヒマール、ガネシュヒマール）(I)
⑩	2018年6月	5日	ネパール中部（ゴサインクンド）(I)
⑪	2018年7月	25日	ネパール東部（ジャルジャレヒマール、カンチェンジュンガサーキット）(I)
⑫	2019年6月	7日	中国チベット南東部（セチ・ラ、ラサ郊外）(G)
⑫	2019年7月	6日	中国四川省西部（康定、道孚、貢嘎山郷）(G)
⑫	2022年6月	10日	ネパール西部（ジウムラ、シミコット）(I)
⑫	2022年7月	15日	ネパール中部（ラムジュンヒマール）(I)

(注： G-団体旅行、 T-ツアー、 I-個人旅行)

メコノプシス属とは

(定義) ケシ科の草本。ケシ属との違いは明瞭な花柱を持つこと。



(分布) カシミールからヒマラヤ山脈、横断山脈、およびチベット高原東縁 標高 3,000m 以上
(東-湖北省西部、西-パキスタン、南-雲南省中部、北-甘肅省・青海省境)



(枠は今回の対象地域)

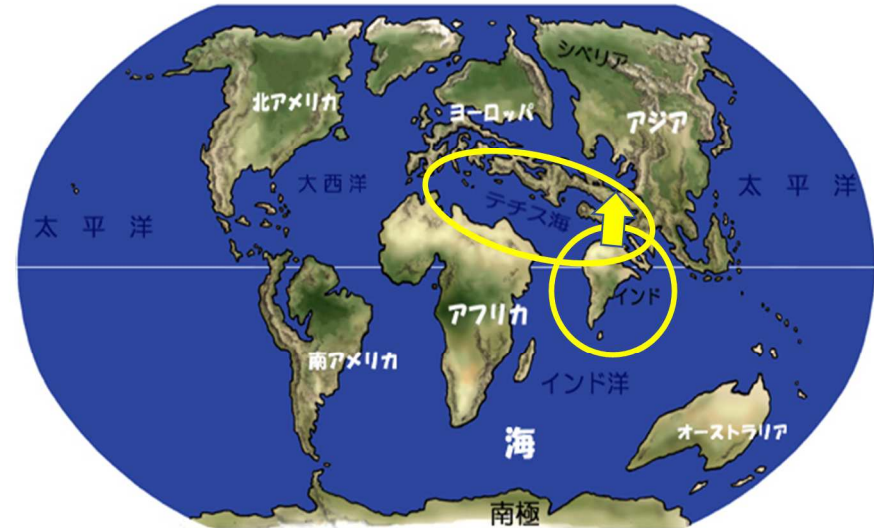
メコノプシス属の誕生

顕生代												原生代	太古代 (始生代)	冥王代
新生代			中生代			古生代								
第四紀	新第三紀	古第三紀	白亜紀	ジュラ紀	三畳紀	ペルム紀	石炭紀	デボン紀	シルル紀	オルドビス紀	カンブリア紀			
258万年前	2303万年前	6600万年前	1.5億年前	2億年前	2.5億年前	3億年前	3.6億年前	4.2億年前	4.4億年前	4.9億年前	5.4億年前	25億年前	40億年前	46億年前
	哺乳類繁栄 ヒト科出現	恐竜が絶滅	被子植物出現	恐竜が繁栄 鳥類の出現	恐竜出現	爬虫類繁栄 大量絶滅	シダ植物繁栄 昆虫類の繁栄	種子植物 動物陸上進出	サンゴ類繁栄 植物陸上進出	オウムガイ	三葉虫	シアノバクテリア 真核生物		
氷河の発達と後退	ヒマラヤ造山運動	インド北上とアジア衝突	インドの分離	パンゲア分裂		パンゲア出現								地球誕生

白亜紀前期 (1億4500万年前～9900万年前)



新生代・古第三紀 (6500万～2300万年前)



イラスト出典:「古世界の住人」 (<https://paleontology.sakura.ne.jp/>)

インド亜大陸がユーラシア大陸と衝突する以前 (6600 万年前) には生まれていた。
氷河の発達と後退に合わせて種の進化 (細分化) が進み、多様な種が生まれた。

ヨーロッパによるメコノプシス属の発見（中国関連）

年	事項
1814	ルイ・ヴィギエがパパヴェル・カンブリカをメコノプシス属に移す。メコノプシス属の誕生。
1820	ナタニエル・ウォーリックがネパール・ゴサインクンドで青いケシ（M・ナパウレンシス）を採集。
1824	ドン・カンドルがウォーリック採集サンプルをM?・ナパウレンシスと命名。
1876	M・クインツプネルヴィアをレーゲルが記載。中国での最初のメコノプシス属の命名。
1886	デラヴェ神父が採集したM・デラヴァイイとM・ランキフォリアをフランチェが発表。
1899	ヴェッチ種苗商会、E・ウィルソンを四川省へ派遣（ハンカチの木の種子採集）。
1903	E・ウィルソン、四川省でM・インテグリフォリアの種子採集。
1904	ビーズ種苗商がJ・フォレストを中国へ派遣。続々と新種発見。
1910	ビーズ商会、キングドン・ウォードを雇い、雲南省へ派遣。
1924	キングドン・ウォード、ツァンポー渓谷で植物探索。M・バイレイを採集。英国で青いケシブームを起こす。
1934	ジョージ・テイラー、メコノプシス属のモノグラムを出版。分類体系を構築する。
2012	グレイ・ウイilson、M・カンブリカを別属パラメコノプシスに移す。2014年、モノグラムを出版。

植物の分類法

界	門	綱	目	科	属	種
	亜門	亜綱	亜目	亜科/連/亜連	亜属/節(亜節)/列(亜列)	亜種/変種(亜変種)/品種(亜品種)
植物界 Plantae	被子植物門 Magnoliophyta	双子葉植物綱 Magnolipsida	バラ目 Rosales	バラ科 Rosaceae	リンゴ属 Malus	ハナカイドウ M. halliana

●分類体系—新エングラ体系から APG（Angiosperm Phylogeny Group 被子植物系統研究グループ）へ

メコノプシス属の種類と分類

亜属	節	列	種	亜属	節	列	種	亜属	節	列	種				
メコノプシス	メコノプシス		レギア	クンミンシア	アクレアタ		ラティフォリア (I)	クンミンシア(続)	クンミンシア	クンミンシア	ブルピリフェラ				
			スベルバ				アクレアタ (I)				リラタ (I)				
			タイロリー				スペキオサ (TY)				ウムンゲンシス				
	ポリカエティア	ロプスタ				チャンケリエンス					ホリドゥラ (NBTS)	コンプタ			
						ロプスタ					ルディス	ポリゴノイデス			
						グラキリベス					アトロヴィノサ	エクシリス			
						ドゥオージー					ビジャンゲンシス	ラムジュンゲンシス			
		ポリカエティア	ポリカエティア				ナバウレンシス					プラインアナ			
							アウトゥムナリス					メラケンシス	シヌアタ		
							パニクラタ (NBT)					ゲオルゲイ	シヌアタ (NBT)		
							ヴィオラケア (ミャンマー)					エロンガタ	フロリンダエ		
							ガネッシュエンシス					カスターネア	ムスキコラ		
							ウイルソニー					ゾンディンネンシス	アルゲモナタ		
							スタイントニー					ラサエンシス			
ディスコギオ			ワリキー		ラケモサ										
			ディスクグラ		ブラッティー										
			ティベティカ		ヘテランドラ	ベラ									
			シミコテンシス		ヘテランドラ	ベラ									
			トルクアタ		バルピセタ	プリムリナ									
			プータニカ		バルピセタ	プリムリナ									
グランディス	グランディス	グランディス	ピンナティフォリア (NT)		ヘテランドラ						ヴェヌスタ				
						トリコギナ			プリムリナ	ヴェヌスタ					
						ヒスピダ			プリムリナ	プリムリナ					
		グランディス	グランディス	インテグリフォリア	シェリフィー (BT)		バルピセタ						ベラ		
					グランディス (NT)			ヤオシャンネンシス					ベラ		
					ベトニキフォリア			フォレストイー						ベラ	
	バイレイ						フォレストイー						ベラ		
	ガキディアナ						フォレストイー						ベラ		
	インテグリフォリア			インテグリフォリア		インテグリフォリア								ベラ	
						リジャンゲンシス								ベラ	
						ワンパエンシス									ベラ
						スルフレア									ベラ
						プセウドインテグリフォリア									ベラ
	プニケア	プニケア	シンプリキフォリア	ユニフロラ								ベラ			
				シンプリキフォリア (NBT)									ベラ		
				ニンチエンシス									ベラ		
			プニケア									ベラ			
			クイントゥプリネルヴィア									ベラ			

主な生育地 (凡例)

四川省(S)	複数の地域に分布の場合
雲南省(Y)	(NBT) ネパール、ブータン、チベット
チベット(T)	(NBTS) ネパール、ブータン、チベット、四川省
ネパール(N)	
ブータン(B)	
甘粛省 (G)	太字の種名は今回紹介する種
インド (I)	
パキスタン (P)	

プラントハンター（メコノプシスコレクター）たち

年代～	採集者	主な採集地域	主な成果物（新規命名・改名を含む）
1800年代～	F・ハミルトン	ネパール・カトマンズ近郊	最初のネパール産植物の紹介。メコノプシス属はなし。
1820年代～	N・ウォーリックの従者	ネパール・ゴサインクンド	ナパウレンシス、パニクラータ、シンプリキフォリア
1830年代～	J・F・ロイル	ウツタル・プラディッシュ	アクレアータ
1850年代～	J・D・フッカー	シッキム	ホリデュラ、ロブスタ、ワリッキー
1880年代～	N・プルジェワルスキー	甘粛省	クインツプネルヴィア、プニケア、ラケモサ
1880年代～	P・デラヴェ	雲南省	デラヴァイイ、ランキフォリア、ベトニキフォリア
1880年代～	ボンヴァロ	四川省	ヘンリック
1900年代～	E・ウィルソン	四川省	ウィルソニー、インテグリフォリア
1900年代～	G・フォレスト	雲南省	フォレスティ、ゲオルギイ、ヴェヌスタ、プセウドヴェヌスタ、スペキオサ、ラティフォリア、レピダ、エクシミア、アルゲモナンタ、インペディタ、コンキンナ、
1910年代～	R・J・ファーラー	甘粛省	プシロノーマ、レピダ
1910年代～	F・M・バイレー	ネパール、チベット	バイレイ、ベラ、ドウオージ、グラキリペス、チャンケリエンシス
1910年代～	キングドン・ワード	雲南省、ビルマ、チベット	バイレイ、プライニアナ、フロリンダ、ヴィオラセア
1930年代～	J・シェルフィ/F・ルドロー	ブータン、チベット	シェルフィー、ルドローイ、ガキディアナ、スペルバ、ブータニカ、トルクァタ、プリムリナ
1950年代～	A・スタイントン	ネパール	タイロリー、スタイントニー、ガネシュエンシス、シニコテンシス、ブルビリフェラ、ラムジュンゲンシス
2000年代～	C・グレイ-ウィルソン	四川省、雲南省、チベット、ブータン、ネパール	ラサエンシス、リージャンゲンシス、シノマクラタ、スルフレア
2000年代～	吉田外司夫	四川省、雲南省、甘粛省、チベット	バランゲンシス、ヘテランドラ、ムスキコーラ、プルケラ、ヤオシャンネンシス、アトロビノーサ、カスタネア、ビジャンゲンシス、エクシリス、トリコギナ、イナベルタ、ウェンダエンシス、プノレプレア、プレウロギナ、アプリカ、ホアンロンゲンシス

本日の発表資料

以下の URL に PDF 形式のファイルを置いてあります。(パスワード **yunnan**)

<http://www.insite-r.co.jp/Flower/southwestchina.pdf>

(前回発表の資料) (パスワード **yunnan**)

<http://www.insite-r.co.jp/Flower/monsoonhimalaya.pdf>

参考資料

吉田外司夫：「青いケシ大図鑑」(平凡社) / 「ヒマラヤ植物大図鑑」(山と溪谷社)

大場秀章：「ヒマラヤの青いケシ」(山と溪谷社) / 「ヒマラヤを越えた花々」(岩波書店)

C. Grey-Wilson：「The Genus Meconopsis」(Kew Garden Press)

George Taylor：「Meconopsis」(Waterstone)

花紀行 Web page

(インド・ヒマチャールプラデュッシュ)

http://www.insite-r.co.jp/Flower/2014/aug/indian_blueflowerers.html

(インド・アルナチャールプラディッシュ)

<http://www.insite-r.co.jp/Flower/2015/aug/karatenjiku.html>

(ブータン)

http://www.insite-r.co.jp/Flower/2016/aug/bhutan_poppies.html

(中国・チベット)

http://insite-r.co.jp/Flower/2013/aug/china_poppy.html

<http://www.insite-r.co.jp/Flower/2015/aug/karatenjiku.html>

http://www.insite-r.co.jp/Flower/2017/aug/monsoon_himalaya_tibet.html

http://insite-r.co.jp/Flower/2019/aug/tibet_skypoppy.html

(ネパール)

http://www.insite-r.co.jp/Flower/2017/oct/monsoon_himalaya_nepal.html

<http://www.insite-r.co.jp/Flower/2018/aug/rain-kingdom.html>

http://www.insite-r.co.jp/Flower/2022/aug/himalaya_again.html

災害被災者・難民支援 チャリティ協賛のお願い

撮影した花々で「四季の花々カレンダー」を作成しています。

1部 1,000円で販売し、購入者のお名前でご希望の支援団体へ全額(1000円)寄付します。寄付金は震災や事故の遺児の奨学金、難民支援に充てられます。(2部以上購入の場合、複数の団体へ寄付できます。また、寄付をしないことも選べます)

- みちのく未来基金 (震災遺児への奨学金支給の運営支援)
- あしなが育英会 (交通事故などで親を亡くした子供への奨学金支援)
- セーブ・ザ・チルドレン (ウクライナ難民支援)

あしなが育英会を除く団体からは希望により寄付金控除証明書が送られ、寄付金は税控除の対象となります。



昨年は123名の方のご支援で45万1000円を寄付することができました。